

“座る” “移乗する” “移動する” を満足していただく
病院・施設専用 車いす

Wheeliy

ウィーリイ



車いすは 人を運ぶための 単なる台車ではありません！

“座る” “移乗する” “移動する” を
満足していただく
病院・施設専用 車いす

Wheeliy

ウィーリイ



Tタイプ



FRタイプ



SEタイプ

課題

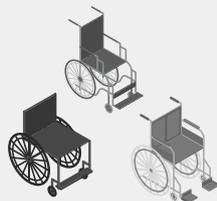
1

利用者様とケア従事者様の課題

種類の多さによる選定の難しさとムダ

車いすの用途別の種類（自走式／介助式、跳ね上げの有・無）が多すぎると、利用者様にあった車いすをつと探す必要があります

また、それぞれに合う車いすを保有するにはムダな在庫と費用がかかります



ウィーリイで解決！

自走式／介助式両方に使える、汎用性の車いすに“統一”することで、選定の難しさやムダがなくなります



課題

2

利用者様とケア従事者様の課題

座面クッションの有・無

座面クッションがなかったり、薄いものだと、おしりの痛みが生じるため、その対策としてクッションをつと補充する必要があります

クッションが適正でないと、痛みを回避しようとして姿勢を崩されますイラストのような光景はありませんか？

姿勢の崩れは転落・転倒の原因にもなり、日々の座り直し介助は大変だと察します

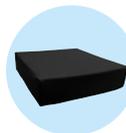


片側への傾き姿勢



仙骨座り

ウィーリイで解決！



お尻部分は、体圧分散性の高い座面クッションを「標準装備」し、



背中部分は、体圧分散性の高い心地よいクッションにしています



車いす上でよく動かれるため、安定性が必要な人には、厚さ4cmのクッション Hard モデルもあります
利用者様の状態に応じて、選定してください



私たちがつくりたい車いすとは

- 1 実際の使用においては、右の3つを満足していただくことです
- 2 車いすを必要とする人・介助する人、すべての人にとって「安全を第一」に、病院・施設の「備品としての耐久性」を考えます

座る
Sit

移乗する
Transfer

移動する
Moving

課題 3 利用者様とケア従事者様の課題 移乗時の負担と事故の不安

日常、移乗の機会は多くありますが、利用者様による自力移乗や、介助での抱きかかえ移乗が行われます

- ① 自力移乗であっても、転倒・転落の不安はつきまとう
- ② 抱きかかえ移乗は、体を密着し、口が近い作業のため、ケア従事者様の不快感や不安の原因となる
(唾液の付着、飛沫・接触感染)
- ③ 抱きかかえ移乗は、ケア従事者様の腰痛の原因となる
(5人の患者・入居者様で年間7,200回の移乗作業)



ウィーリィで解決！



ウィーリィは、トランスファーボードでの移乗を前提に設計しています

トランスファーボードを使った移乗は、腕力に頼った自力移乗や密着・抱きかかえ移乗よりも楽で安全です



滑り特性の高いトランスファーボードを標準装備！
トランスファーボードを使った詳しい移乗方法は、次のページをごらんください ▶▶▶

課題 4 利用者様とケア従事者様の課題 走行時の事故と故障の不安

車いすの故障や破壊はしばしば発生し、つどメンテナンスが必要になります

通常の車いすのホイールは自転車のような「スポーク式」が多いので、走行中に指や衣類が入ると事故の原因になります

また、スポーク部分を引っ張って破壊されるケースもあり、汚れた際の清拭も手間がかかります



ウィーリィで解決！



ウィーリィは、走行中に指が入っても巻き込まれにくい形状で、また、表面積が大きいホイール形状のため壊れにくい設計です

各部はお手入れ、メンテナンスがしやすい設計です



ノーパンクタイヤ



清拭しやすいホイール



防水性クッション



事前準備



1 ウィーリィを寄せる

ウィーリィをベッドに対して少し斜めにできる限り近くまで寄せます



2 ブレーキをかける

両側のブレーキをかけます

POINT! かがまず立ったまま使える駐車ブレーキ



立位駐車ブレーキ

前方にかがむ苦しい姿勢をとらずに立ったままブレーキ操作ができます



移乗動作

※ 自力移乗でも楽に安全に使えます



1 ボードを差し込む

ボードをお尻の下に手のひらサイズ差し込み、ウィーリィにも乗せます



POINT!

跳ね上げの必要なし!

そのままトランスファーボードを差し込める設計になっています



2 手をかける

- 車いす側の腕を、利用者様の脇の下から通し、手のひらを肩にあてます
- 反対側の手を、利用者様の腰にあてます



3 横にスライドさせる

体全体を使い、横にスライドさせます

POINT! 体重のかけ方

車いす側の足 に体重をかける場合

腰にあてた手を、車いす側に引き寄せてスライドします

ベッド側の足 に体重をかける場合

腰にあてた手を、車いす側に押してスライドします



4 ボードを抜く

ボードを抜いて移乗完了です

ウィーリィ

タイプ	品番	サイズ(cm)		
		座幅	奥行	前座高
Tタイプ低床	MWHE05CS	40	40	38
FRタイプ	MWHE03CS	40	40	38
FRタイプ(大柄な人向け)	MWHE07CS	42	40	42
SEタイプ	MWHE06CS	42	40	42

※ クッション Hard の品番についてはお問い合わせください

Tタイプ



背中部分が高めでつなげたフレーム形状

FRタイプ



フットレストが開閉式で取り外しが可能

SEタイプ



背中・腰回り・下肢のフィッティングが可能

★
一番人気

